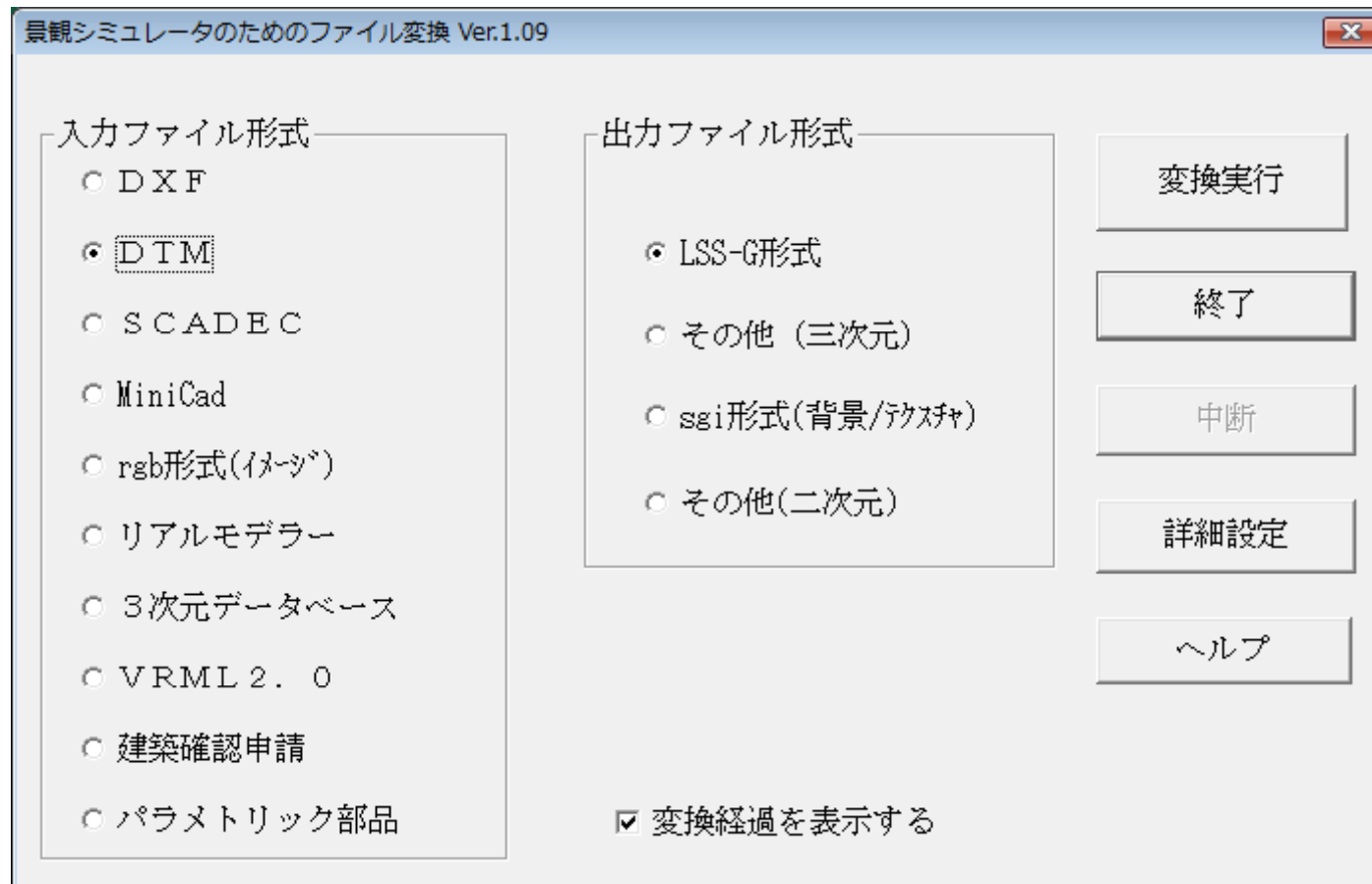


# 景観シミュレータ：高台整地機能 指導員手引書

111119土木の日バージョン

# 貿易コンバータによる 地形データの準備



# 貿易コンバータ詳細設定

DTM → LSS-G 変換

入力ファイル名   
C:\¥@keikan¥kdb¥@samples¥Kamaishi¥bighammer¥10mg333\_2g.lem

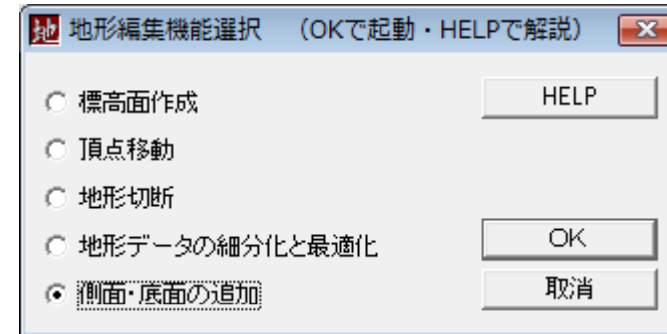
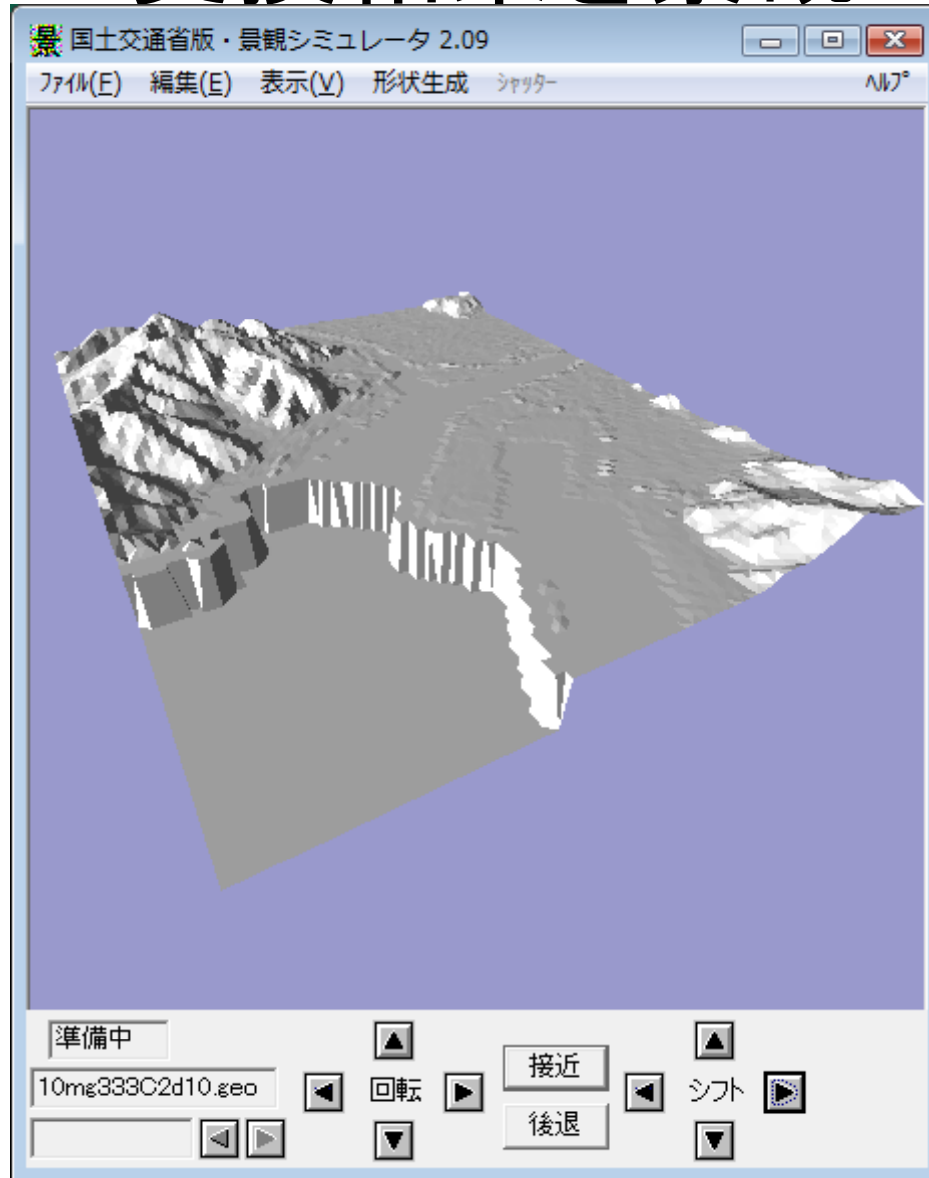
出力ファイル名   
C:\¥@keikan¥kdb¥geometry¥高台整地¥10mg333C2d10.geo

データ形式  
 DEMバイナリー(Z値)  DEMテキスト(Z値)  テキスト(XYZ)  
 テキスト(IXYZ)  数値地図(標高)  DBF

縦長さ(メートル)  m 起点Y  m  
領域 横長さ(メートル)  m 起点X  m  
回転角  度 終点Y  m  
原データ格子間隔  m 終点X  m  
間引き率  分の1

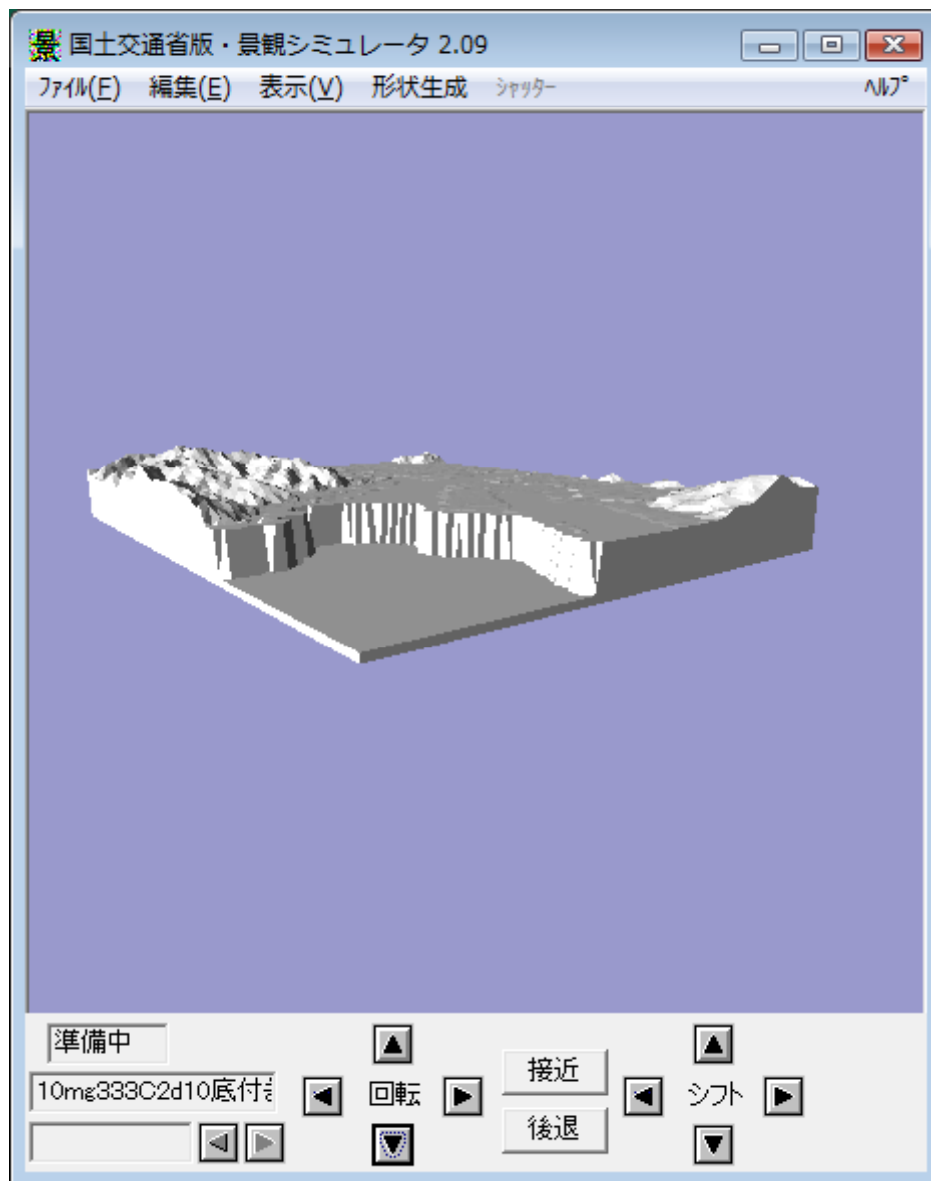
変換範囲の限定をする  
 データは大きくなるが法線ベクトルをつけて滑らかに見せる  
 原空中写真で着色する

# 変換結果を景観シミュレータで加工



- プラグイン  
「地形編集」で、  
「側面・底面の追加」  
を起動

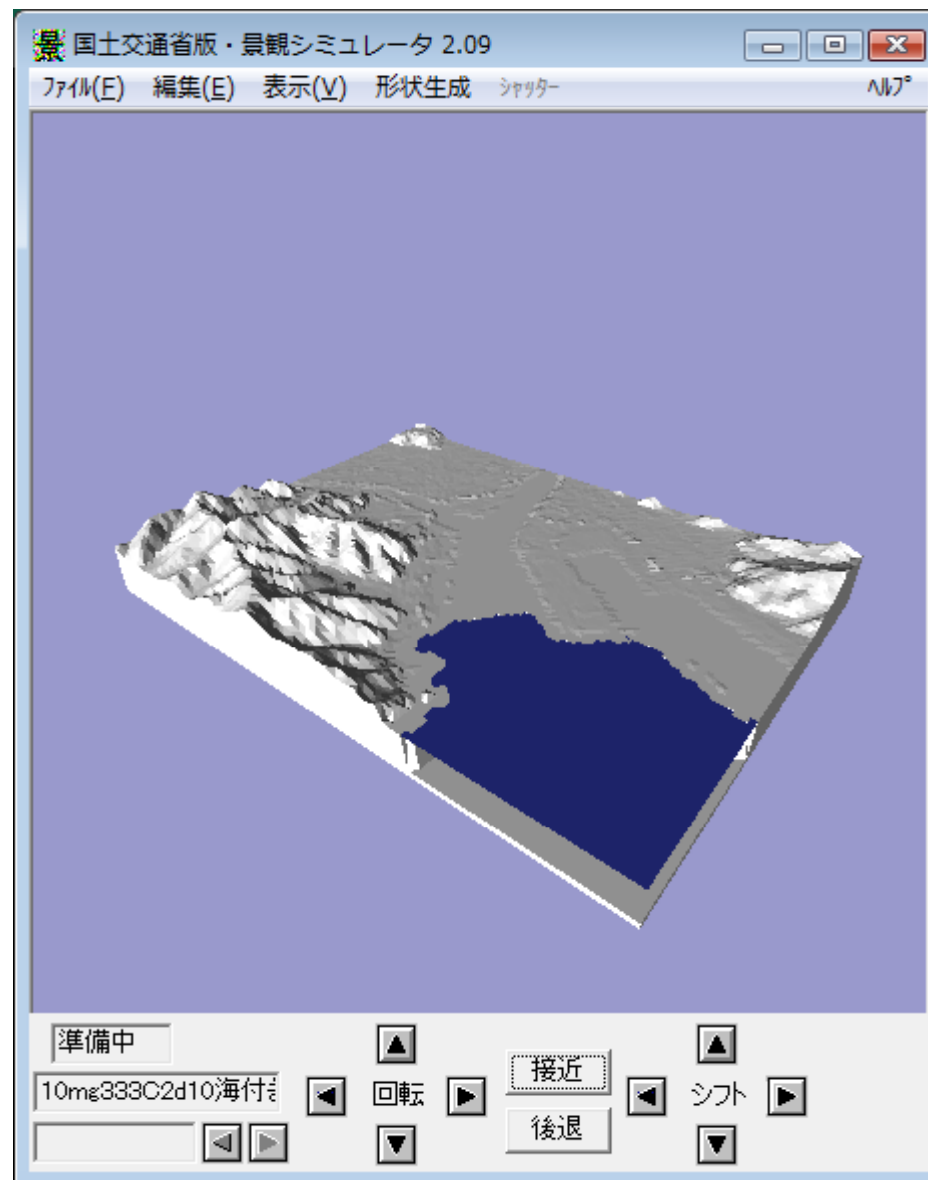
# 地形に底面・側面を付ける



- 「完結性」にチェックを入れると、底面高さで設定した標高に底を付ける

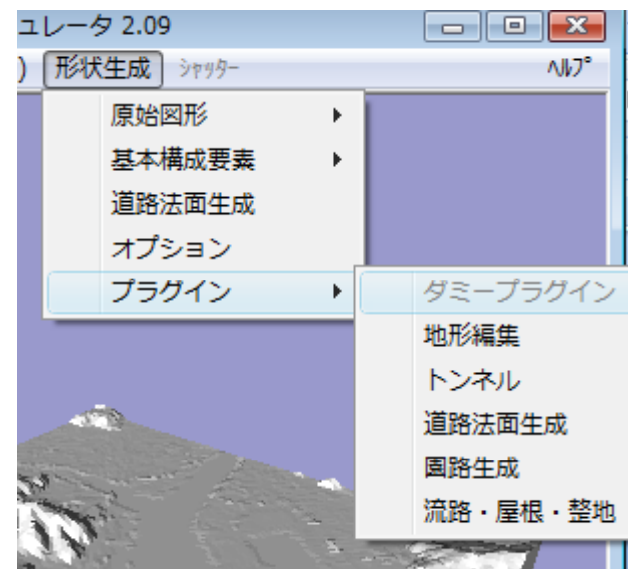
# 海面を付ける

- 簡単には、[形状生成]  
[原始図形][平面]  
の編集画面で高さゼロ  
付近の面を作成し、  
マテリアル編集で  
カラーを設定する。



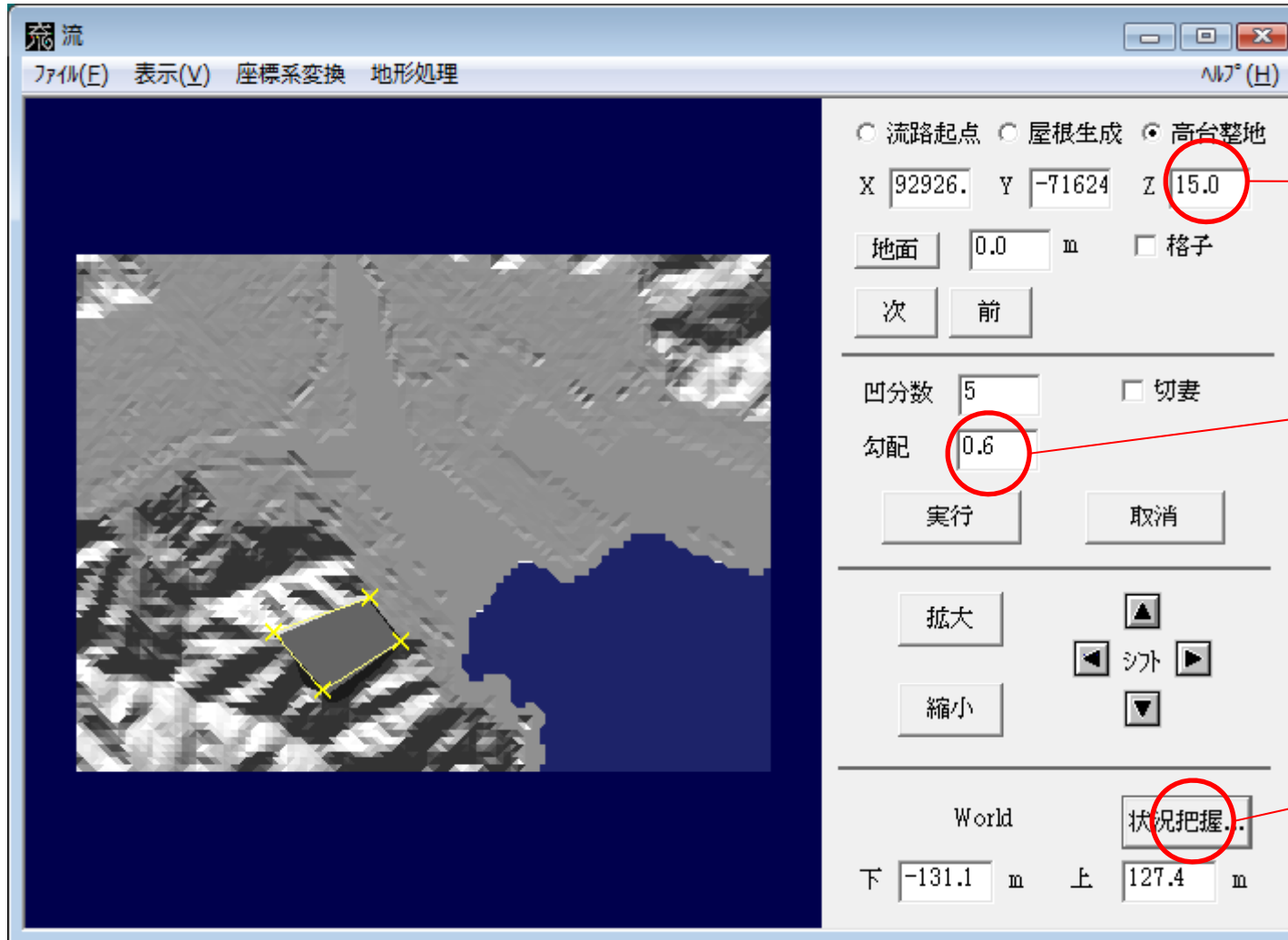
# 高台の整地

- プラグイン「流路・屋根・高台」(flow.dll)を起動し、高台を生成する。
- メイン画面で選択した地面が処理の対象となる。キャンセル等で選択が解除された場合には、プラグイン画面を開いたままで、メイン画面で再度選択することができる。



# 高台整地の詳細

(実行ボタンを押す前の設定)



高さを設定する

法面勾配を設定  
鉛直線から傾き

状況把握を実行  
(法面の上下限)



# 高台から海を見る

- 視点設定画面が便利  
[編集][視点設定][視点設定]

